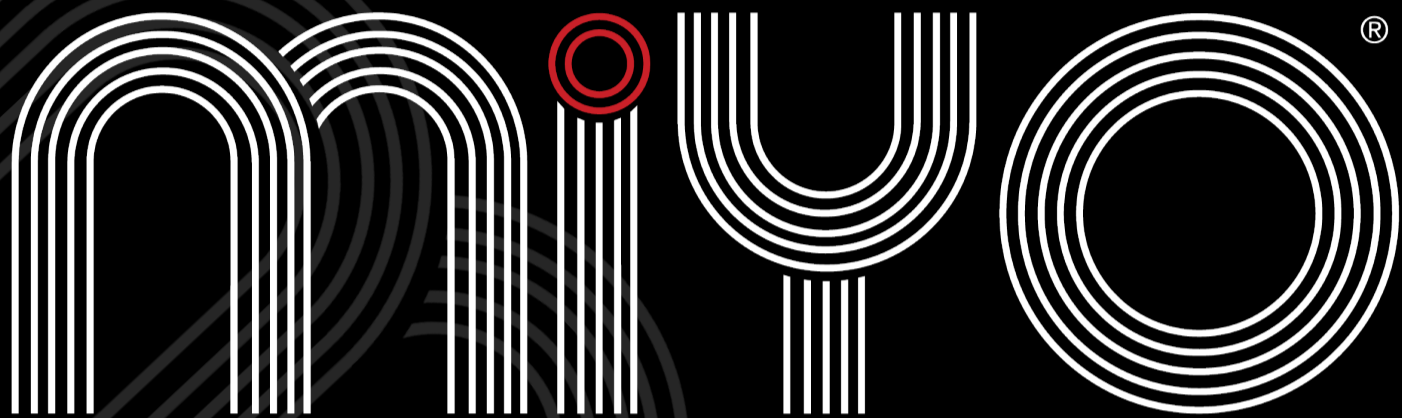




※上の写真のものを実際に実習で作製します



Amorphous presents

Advance Hands-on course

近年、ジルコニアの需要拡大に伴い、審美性と強度の両立が可能なモノリシックによるステイン法への関心が高まっています。

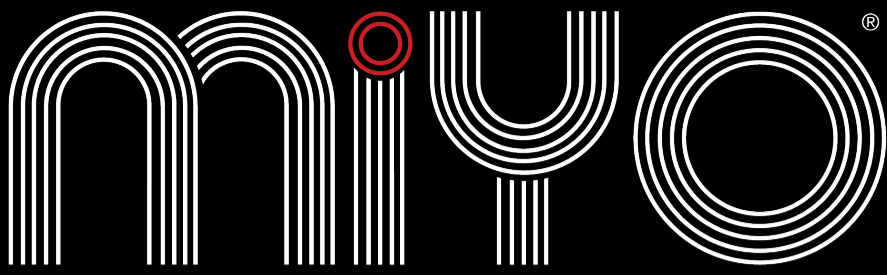
その流れの中で、液状ステインや粉状陶材とは異なる新たな材料として「リキッドセラミック」が登場し、従来法と比較して、より自然な質感や色調を効率的に再現できるようになりました。

本講習では、リキッドセラミックである『MiYO』を用いた歯肉付きケースを実際に作製し、MiYOの特性や使用法を理解することで、明日からの臨床に直結する知識と技術を習得していただきます。

講師 岸本憂太先生

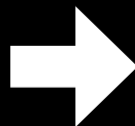
- 2007年 尼崎歯科専門学校卒業
- 2007年 (株)六甲歯研勤務
- 2012年 大阪セラミックトレーニングセンター週末コース修了
- 2013年 大阪SJCD臨床テクニシャンコース修了
- 2013年 至誠会 松川歯科医院勤務
- 2025年 ire dental labo.開業





セミナー内容

- MiYOとはどういったものか？
 - ・ MiYOの特性、粉末陶材・従来ステインとの違い
 - ・ シンタリング、ステイン前のフレーム処理
- MiYOカラーによる歯冠・歯肉の色調再現
 - ・ 明度・透過性・彩度の考え方
 - ・ 歯肉のキャラクター再現の考え方
- MiYOストラクチャーによる歯冠・歯肉の質感再現
 - ・ ストラクチャーのコントロール方法
 - ・ 研磨/グレースによる質感の調整
 - ・ テクスチャーが色調に与える影響
 - ・ 歯肉の張り・柔らかさを表現するテクニック



開催日時 2026/11/14 (土) 15 (日)

(Sat)9:00~18:00 (Sun)9:00~15:00

※土曜日夜に懇親会を予定しております

定員数

15名

定員になり次第締め切らせて頂きます

受講費

90,000円

上記金額に材料費、昼食代、消費税が含まれています

土曜夜に懇親会を予定しております (実費)

決済後のキャンセルは各種手数料を引いた額を返金いたしますのでご了承ください

持参物

使い慣れたインスルメントや築盛道具、各種バー

ジルコニアフレーム・模型・陶材はこちらでご用意します

会場・お問合せ

Amorphous 事務局

大阪府大阪市中央区本町2-3-4

アソルティ本町7階 LAZARUS内

※お問い合わせは下記LINEにてお願いいたします

申込方法



セミナー専用公式LINEにご登録ください

LINEにて参加申し込みフォーム・お支払い方法を送信します

公式LINE登録は左のQRコード読み取り (ID : @495ctymq)

supported by

MOKUDA

SmartPractice
株式会社スマートプラクティスジャパン

バカ社長の独り言

筆者が歯科技工業界に入った20数年前は、「セラミックワーク」は限られた達人だけが手がけられる、言うなれば“神聖な領域”だったように思う。

特にフルマウスの築盛は、まさに「苦行」。途方もない時間と集中力、そして精神力を要求される仕事で、経験の浅かった筆者にとっては、天竺に行くよりも険しく遠い道のりであった。

築盛完成間近で手が滑って落としてしまい、全てを台無しにしてしまった時に、大阪中に響き渡る声で叫んだのも今となっては懐かしい思い出である。

しかし今、材料は大きく進化した。それなりに経験の浅い技工士でも、高い審美性と強度を両立した補綴物を作製できる時代が来たのである。

技工士人口が年々減少している日本の歯科技工業界において、この材料進化は間違いなく“福音”だと筆者は感じる。

破折という観点から見れば、ジルコニアは面積が広いほど有利である。その上に表面築盛のように、真っ白のキャンバスに生命感を与えられるリキッドセラミックは、非常に理にかなった存在だと思う。

そう、『MIYO』という選択肢は「臨床を一階級引き上げる現実解」と言えるだろう。

筆者と岸本氏とはそれなりに長い付き合いになる。軽々しく「天才」という言葉は使いたくないが、彼は筆者が思う“本物”の一人であることは間違いない。

しかし彼は、感覚だけで仕事をしているわけではない。彼の中で、すべての結果に理由があり、すべての操作に理論がある。

この度、その岸本氏がMiYO公式KOL（キー・オピニオンリーダー）に任命された。

そして今回、その岸本氏による初めての2日間のアドバンスハンズオンコースが満を持して実現する。

これから日本中、いや世界中で名が知られていくであろう岸本氏の「初」アドバンスコースを、是非とも受けてみられるのをすすめるナリ。

藤子・F・不二雄先生を偲びながら

LAZARUS / Amorphous 村田彰弘(A)